

平成21年度第6回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成22年3月18日（木）午後2時～4時40分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 協議会委員：12名 傍聴者：なし
事務局：中央図書館長 館長補佐兼庶務係長 館長補佐兼調査係長
花小金井図書館長（副参事） サービス係長 資料係長
上宿図書館長 計7名
- 4 配布資料 資料は省略させていただきます。
- 5 議題等
 - (1) 報告事項
 - ① 図書館運営状況について
 - ・ 図書館事業等の報告と今後の予定について（資料No.1）
（これまでの報告）
 - ・ 2月4日～18日 東京都多摩地域公立図書館大会
17日、第5分科会の地域資料は小平市図書館が会長市である三多摩地域資料研究会が担当
 - ・ 2月6日 講演会「学校図書館と公立図書館～人が育つ場と方法として～」
講師：竹内哲さん 中央図書館 参加者48人
 - ・ 2月 6日 お話し会スペシャル 大沼図書館 参加者36人
 - ・ 2月11日 お話し会スペシャル 花小金井図書館 参加者17人
 - ・ 2月20日～3月17日 ギャラリー展示「アーサー王伝説をめぐる旅」
 - ・ 2月27日、3月6、13日 民話講座「アーサー王伝説を訪ねて」
第1回（参加者77人） 第2回（参加者56人） 講師：井村君江さん
第3回（参加者68人） 講師：池田正孝さん 中央図書館
 - ・ 3月21、22日 小平図書館友の会 古本市 中央公民館ギャラリー
（今後の予定）
 - ・ 3月24日 小平図書館友の会利用者懇談会 中央図書館
 - ・ 3月27日 子ども科学講演会 講師：山村紳一郎さん 喜平図書館
 - 平成21年度月別貸出状況について（資料No.2）
貸出資料数が前年度より27,279点増加。今年度は160万点を超える
ではないか。順調に伸びている。
 - 広域利用市の貸出・借用は小平市・東村山市は均衡がとれている。
西東京市は他市への貸出が多い。
 - ② ブックリサイクル実施状況について（資料No.4）

約90%がリサイクルとして活用された。残りは古紙として再生する。

③ 3月市議会定例会について

○図書館への一般質問は2件

- ・小学校へ配置される学校図書館協力員の配置内容について
- ・子どもの自立と創造力をはぐくむ学校の環境整備を

○予算特別委員会における質問は3件

- ・東部市民センターの駐車場について
- ・学校協力員の募集の内容について
- ・仲町図書館・公民館の建替えについて

④ 子ども読書活動推進計画について(資料No.5)

- ・パブリック・コメントの受付(12/20~1/8)
- ・教育委員会報告(2/8)
- ・議会幹事長会議報告(3/17) 3月末日までに公表。
- ・進行管理を確実にし、進捗状況をホームページで広報する。

<報告事項についての質疑・応答>

会 長：仲町図書館について何か確認したいことがあるか。

委 員：仮に仲町図書館の位置に建築するとした場合、敷地面積はどこまで。

事務局：用水から南側までである。

委 員：仲町図書館の基本設計に民意を反映というが、いつ頃、どういう形で行うのか。

事務局：いつまでとは言えないが、業者選定を行い、夏頃までには業者と一緒に市民に説明し、基本設計前に意見を聞いていきたい。

委 員：仲町公民館は、老朽化があるので早くして欲しい。

事務局：長期総合計画では、前期基本計画の期間に建替えることになっている。

委 員：仲町公民館は、なぜあのような施設を建てたのか。合唱の練習等、音の問題等があるが合築で問題ないか。

事務局：旧町役場を使っていることによる。公民館は、建替えに当たっては防音設備を要望している。

(2) 協議事項

①平成22年度小平市図書館事業計画(案)について(協議資料1)

主な内容は次のとおりである。

- ・小川家御用留文書内容目録を発行予定
- ・第2次小平市子ども読書活動推進計画の広報・啓発等
- ・小・中学校との連携推進
- ・広域利用の推進 国分寺市との図書館相互利用についての検討
- ・仲町図書館改築に向けての基本設計の実施

蔵書は面積が減少するので減る。ブラウジングをロビー的に使えたり、資料を館内自由に持っていけるようICタを導入したりとか、24時間貸出とか、書

庫に調べ学習用の資料をそろえて学校図書館への支援などをしてみたいと考えている。

<質疑応答>

委員：市民の目線で仕事ができないか。図書館の貸出・返却の自動化、電子化ができないか。I C タグの導入を仲町図書館で是非取り上げて欲しい。図書費の割合から紛失のロスが大きい。

全館つけなくても来年度の事業計画に入れて検討して欲しい。

事務局：仲町図書館で検討したい。

委員：事業計画にデジタル化が載っているか。電子図書への対応は。

事務局：具体的には手つかずで、今のところ対応は考えていない。

会長：小学校ではどうか。

委員：小学生は電子図書の感覚はない。先生も電子の時代ではない。電子は保存に有効と考える。紙ベースでは、日本語は縦に読む。横文字に比べたら遅れていくが、縦は集中しないと理解できない良さがある。

委員：電子化はコンパクトで保存にはいいが、機能が変わった時に取り換えなければならない。

委員：高価本にI C タグを入れたい。予算措置はどうか。今なら安く導入できる。

委員：デジタル化された資料を図書館で扱うのは、個人的には難しいと思う。容量が多いのとネットワークとつながれてのダウンロード等がある。更に技術の進展があるので陳腐化されやすい。ネットワークのサービスの有料を見極めるのは難しい。しかしながら、電子書籍は拡大できるし、読み上げてくれるので障がい者、高齢者に有効と考える。ここに注目してはどうか。

委員：これからの図書館は、紙、電子、フィルムなど多様な保存方法を考えていく方がいい。

委員：複写サービスについて公民館・地域センターとの差を感じる。

リクエストサービスについて、CDの購入を受け付けない理由は。

事務局：複写の件だが、図書館における複写は著作権法の制限があり、1部のため申請書に記入してもらっている。図書館内の資料が対象であり、職員が責任をもって複写するのが本来である。法律上の制限なのでご理解いただきたい。

委員：本が傷むので、職員が扱う方がよい。本も尊重していただきたい。

会長：貴重な本は制限し、資料の取り扱いにも気をつけている。

委員：日本国民は著作権の意識が低いので、小学校の教育から著作権を守ることを指導しなければならない。

事務局：予約本の購入はだいたい対応できる。CDは、民間の貸出業者との関係から朗読CD、クラシック、環境音楽、落語を主に購入している。予約を受けても内容からほとんど断ることになるため、受け付けていない。

希望がある時は、「図書館への私の意見」で出してほしい。

委員：図書館ツアーは、まだ、試行なのか。

事務局：募集方法等を前向きに考えていきたい。

委員：小平市子ども読書推進計画を皆で話し合う方向を検討して欲しい。進行状況はどこでわかるのか。

事務局：図書館のホームページに毎年、定期的に載せていきたい。事務局に意見をぶつけて欲しい。

委員：国民読書年の年なので、何か特別な事をやるのか。

事務局：東京都でも予算化していない状況である。普段の取組を充実させ、各館でポスターの掲示等PRに努めていく。

委員：図書館大会で東村山市の児童サービスの報告があった。子ども読書推進計画の進捗状況について、HPに継続的に掲載されていて良かった。

委員：電子図書は著作権がきれると絶版を望んだものまで発行されてしまう。

委員：予約は5件だが、予約が多数入っている図書の予約は5件からはずしてほしい。他の図書館の本を取り寄せるのに物流の問題はないか。

事務局：他からの協力便は、今は東京都が負担しているが、今後は分からない。

事務局：市の交換便は、軽トラック一台のため量に限りがあり、リクエストの冊数を増やせない。交換便の体制変更を検討している。

会長：それでは、平成22年度の事業計画は承認してよろしいか。承認とする。

②平成22年度小平市図書館協議会日程（案）について（協議資料2）

会長：日程についてご了解いただけるか。了解。